

# 出版記念講演会

# タゴール10の物語

～東ベンガル時代のタゴール～

2024年

11月16日(土)

時間 14:00～16:00  
(開場13:30)

場所 大倉山記念館ホール

- 参加無料(定員80名)
- 要事前申込



◀こちらのQRコードまたはE-mail, FAXよりお申し込み頂けます。

E-mail : [okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp](mailto:okuraseishinbunka@js6.so-net.ne.jp)

FAX : 045-542-0051

## タゴール歌曲

タンプーラという弦楽器に乗せて、物語が創作された時代の歌を弾き語ります。

奥田 由香

## 講演

『タゴール10の物語』の挿絵にまつわるお話と、原画の展示をします。

西岡 直樹

## 講演

東ベンガルの自然と人とのふれあいを通して数々の名作を生んだ、30代のタゴールに焦点を当てます。

大西 正幸

主催 公益財団法人 大倉精神文化研究所

住所 〒222-0037 神奈川県横浜市港北区大倉山2丁目10-1  
HP <https://www.okuraken.or.jp>  
TEL. 045-834-6637



会場へのアクセス

東急東横線 大倉山駅より徒歩7分  
(長い坂道を上る)

## プロフィール



### ラビンドラナート・タゴール (ベンガル語：ロビンドロナト・タクル)

インドとバングラデシュの国民詩人。近代ベンガル語の韻文・散文を確立、詩・物語・小説・劇・評論・旅行記・書簡など、あらゆる分野に傑作を残した。両国の国歌を含む数多くの歌曲（ロビンドロ・シヨンギト）の作詞作曲者、優れた画家としても知られる。1913年、詩集『ギーターンジャリ』（英語版）によって、ヨーロッパ人以外で最初のノーベル文学賞受賞者となった。岡倉天心・横山大観・荒井寛方等と交流があり、日本にも5度訪れている。自然の下での全人教育を目指して、彼がシャンティニケトンに設立した学び舎は、現在、国立ビッショ=バロティ大学（タゴール国際大学）に発展している。



### 大西 正幸 (おおにし まさゆき)

東京大学文学部卒。オーストラリア国立大学にてPhD（言語学）取得。専門は北東インド・沖縄・ブーゲンビル（PNG）の危機言語の記述・記録とベンガルの近現代文学・口承文化。1976～80年インド（カルカッタとシャンティニケトン）でベンガル語文学とインド音楽を学ぶ。ベンガル語文学の翻訳は、タゴール『家と世界』、モハッシェタ・デビ『ジャグモーハンの死』、タラシヨコル・ボンダパッダエ『船頭タリニ』、タゴール『少年時代』など。



### 西岡 直樹 (にしおか なおき)

1973～78年、ビッショ=バロティ大学、ジャドプル大学に留学。ベンガル語を学ぶ傍ら村々を巡り、昔話や植物にまつわる話を採話。『インドの樹・ベンガルの大地』『インド花綴り』をはじめ、著書多数。

## プログラム

● 14:00～14:30 歌曲演奏  
奥田由香

● 14:30～14:50 講演  
西岡直樹

● 15:00～16:00 講演  
大西正幸



### 奥田 由香 (おくだ ゆか)

タゴール詩集『ギーターンジャリ』を原語で味わいたいという願いから、コニカ・ボンダパッダエに師事。ビッショ=バロティ大学音楽学部学士・修士課程（タゴール歌曲・音楽美学専攻）修了。帰国後、ベンガル語通訳・翻訳、東京外国語大学や官公庁での語学指導、大倉山記念館でのタゴール歌曲のレッスンなどに従事。